

太子町地域公共交通に関するワークショップ

【聖和台・磯長台地域 第3回】

1. ワークショップの開催概要

(1) ワークショップの目的

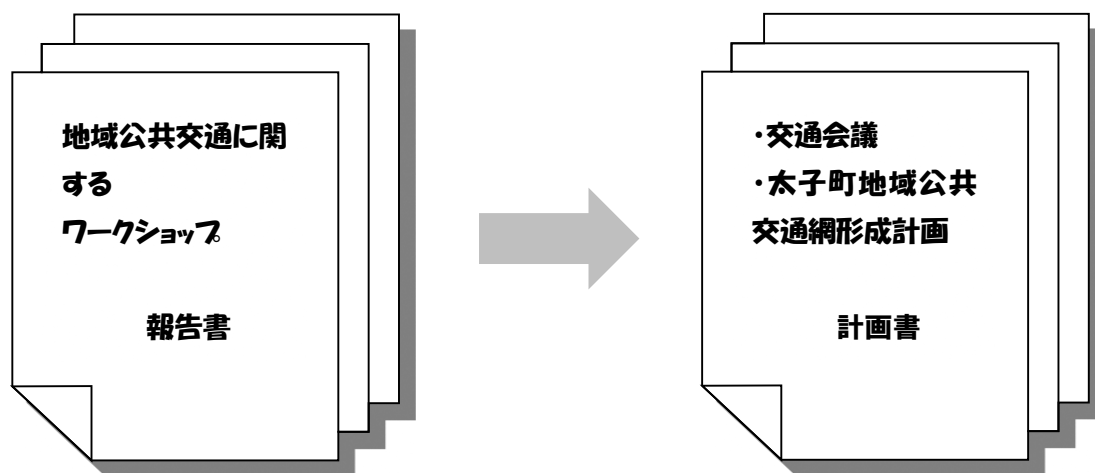
本町では、人口減少や高齢化が進む中で、自動車を移動手段として利用されている場合が多い状況である。このような状況の中、将来にわたって地域住民に利用される持続可能な地域公共交通の構築を図る必要がある。

この背景を踏まえ、昨年度、本町の今後の地域公共交通のあり方を示した「太子町地域公共交通基本計画」を策定した。この基本計画に基づき、今年度より、持続可能な地域公共交通の実現に向けて、より具体的な検討を行っていく。

持続可能な地域公共交通の実現にあたっては、住民、事業者、行政が協働で取り組んでいく必要がある。そこで、ワークショップは、公共交通空白・不便地域の住民が、自分たちが使う地域公共交通について学び、現況の問題点や課題、それらを解消するための対応策や取り組みなどについて話し合い、持続可能な公共交通の実現に向け、自分たちでできることを考える。

(2) ワークショップの役割

公共交通空白・不便地域において、住民が日頃から感じている移動に関する課題を解消するために、利用者の立場に立った具体的な解決方法や提案事項を検討していただく。本町の公共交通における課題や将来像について、話し合い、意見交換などを通じた意見を集約し、その内容について必要に応じ、太子町地域公共交通会議に反映していく。



まとめた報告書は、太子町地域公共交通会議ならびに本会議が作成する「太子町地域公共交通網形成計画」の内容に反映。

※なお、報告書がそのまま計画書になるものではない。

(3) ワークショップの開催日程

【聖和台・磯長台】

	開催日	参加人数	テーマ	内容
第1回	2018年 10月7日 (日)	64名	現況の課題と公共交通 の必要性	<ul style="list-style-type: none">・現在の公共交通について考えよう・どんな公共交通が欲しいのかを考えよう
第2回	2018年 11月23日 (金《祝》)	52名	運行にむけての具体的 な計画	<ul style="list-style-type: none">・実証運行に向けたルートを考えよう・公共交通を走らせる際の問題点がないか考えよう
第3回	2019年 2月9日 (土)	55名	自分たちができること	<ul style="list-style-type: none">・拠点での乗り換えについて考えよう・みんなに乗ってもらうため、自分たちができることを考えよう

2. ワークショップの結果

(1) 第3回ワークショップ【聖和台・磯長台】

①開催概要

日時	2019年2月9日（土） 午前の部 10：00～12：00 午後の部 14：00～16：00
参加者	55名
場所	万葉ホール
方法	午前、午後で5～6グループに分かれ、KJ法により、意見カードを模造紙に貼り、整理。最後に、模造紙を使って参加者全員で検討した内容をグループごとに発表しあう。

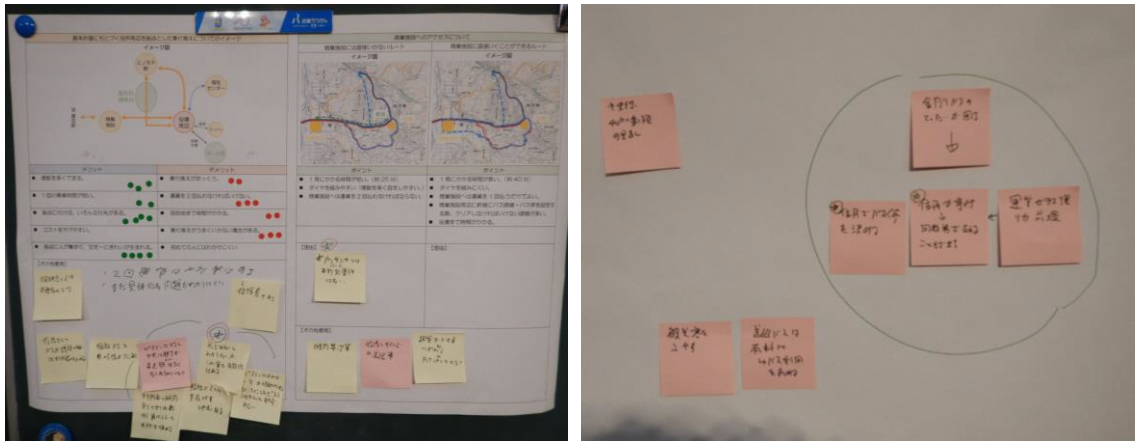
②次第

午前の部	午後の部	実施内容
10：00～	14：00～	【開会】 ・開会のあいさつ ・事務局スタッフの紹介 ・スケジュールについて説明
10：10～	14：10～	【前回のおさらいと今回のワークショップについて】 ・前回のワークショップのおさらい ・本日のワークショップの進め方について説明
10：20～	14：20～	【グループワーク】 ・グループごとに意見交換を実施 ・メンバーの自己紹介 ・『拠点での乗り換えについて考えよう』 役場周辺を拠点とした太子町の公共交通について議論します。 ・『みんなに乗ってもらうため、自分たちができることを考えよう』 持続的な運行とするため、みんなができる利用促進方法を議論します。
11：20～	15：20～	【発表・共有】 ・各テーブルの結果を報告し共有（1グループ5分程度）
11：50～ ～12：00	15：50～ ～16：00	【閉会】 ・閉会のあいさつ ・次回ワークショップの案内

③ワークショップの結果

■1班（午前の部）の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	3
1回の乗車時間が短い。	2
拠点に行けば、いろんな行先がある	4
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	4

デメリット	
乗り換えがおっくう	2
運賃を2回払わなければいけない	3
目的地まで時間がかかる	2
乗り換えがうまくいかない場合がある	3
初めての人にはわかりにくい	

その他意見	
畑地区の人は不便なのは	
役場までのバスが増便になれば利用者はふえる	
福祉バスとその今後の心配	
ピストンにすると中央は残るが喜志駅ルートはなくなるのでは？	
利用者の時間別の利用あるからベストのダイヤが組める	
2回運賃は対策が必要である	
まだ具体的な問題がわかりにくい	
やってみないとわからないがこの案も可能性はある	
福祉バスとの共存はしやすくなる	
往復券もある	
ピストンにすればニーズが明確化する	
ちょこちょこしたピストンはかえって効率が悪い	

○商業施設へのアクセスについて

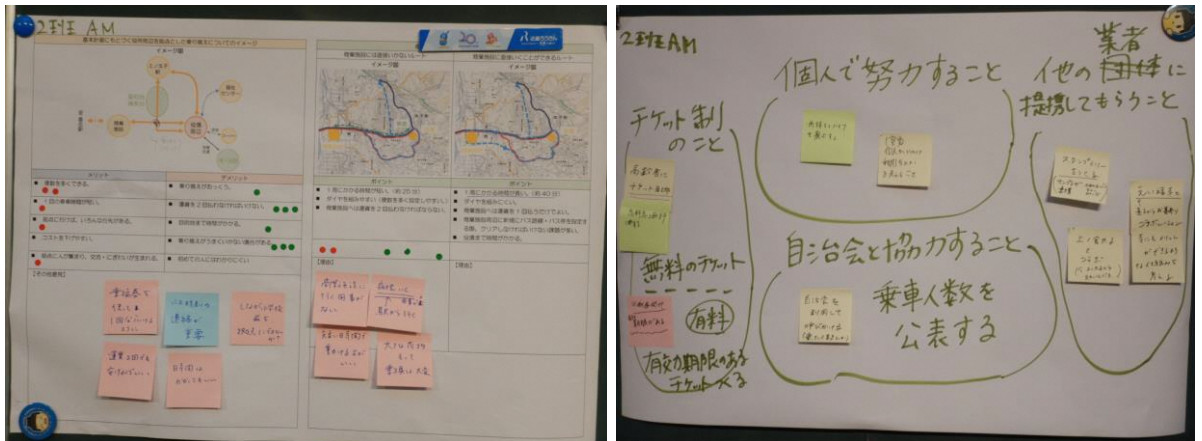
商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いけることができるルート
	0	0
理由	商業施設はルートあまり必要性はない	
その他意見	時間帯次第	
	役場とカインズの送迎車	
	機会ができるしにぎわう→商業施設がくる？	

○自分たちにできること・利用促進について

中央線 40km 制限の見直し
観光客をふやす
送迎バスは有料に ↓ バス利用を高める
金剛バスの撤退がこまる ↓ 住民でバス停を決める
住民が寄付←運営ガラス張りが前提 ↓ 回数券で支えることもできる

■2班（午前の部）の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	2
1回の乗車時間が短い。	1
拠点に行けば、いろんな行先がある	1
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	1

デメリット	
乗り換えがおっくう	1
運賃を2回払わなければいけない	3
目的地まで時間がかかる	1
乗り換えがうまくいかない場合がある	3
初めての人にはわかりにくい	

その他意見	
乗換券を使って1回分でいけるように	
運賃2回でも安ければいい	
バス時刻の連絡が重要	
時間はかかってもいい	
しなが小学校前を拠点にできないか？	

○商業施設へのアクセスについて

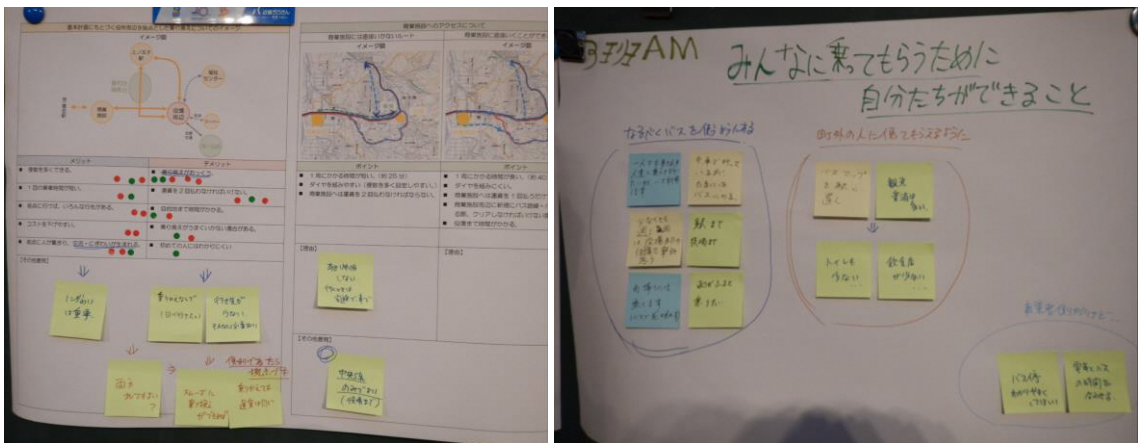
商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
	4	0
理由	商業施設に行く用事がない	
	病院行く用事が主←駅から行く	
	短い時間で動ける方がいい	
	大きな荷物もって乗換は大変	

○自分たちにできること・利用促進について

チケット制のこと	無料のチケット	高齢者にチケット配布 高齢者は無料にする
	有料	回数券発行、有効期限がある。
個人で努力すること		所持するバイクを廃止する (重要)個人がいかに関心を持つかを考慮すること
自治会と協力すること	乗車人数を公表する	自治会を利用して呼びかける(乗った人数とか)
他の業者に提携してもらうこと		スタンプラリーをつくる (サンプラザ、他のスーパー、ラムー、カインズ連携)
		えい福寺(遠方からお墓参り)とコラボレーション
		上ノ宮太子とコラボ(今、上ノ宮太子からスクールバス)
		寺にもメリットができるような仕組みを考える

■3班(午前の部)の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	3
1回の乗車時間が短い。	2
拠点に行けば、いろんな行先がある	2
コストを下げやすい	2
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	3

デメリット	
乗り換えがおっくう	5
運賃を2回払わなければいけない	3
目的地まで時間がかかる	2
乗り換えがうまくいかない場合がある	2
初めての人にはわかりにくい	1

その他意見	
メリット	にぎわいは重要
デメリット	乗りかえなしで1回で行きたい 行き先が少ない、そんなに必要ない



両方あってもよい？
スムーズに乗り換えができれば
便利であったら拠点でも乗りかえても運賃は同じ

○商業施設へのアクセスについて

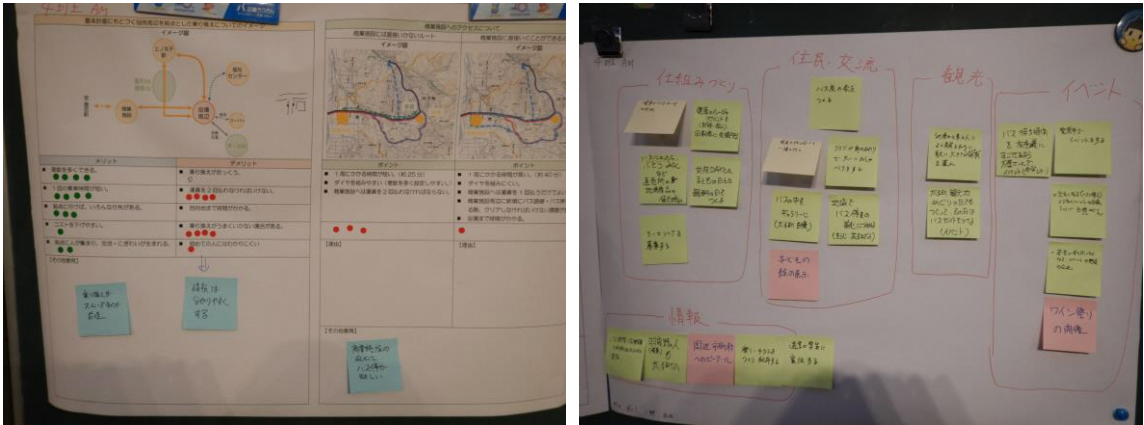
商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
	0	0
理由	あまり利用しない。行くときは家族で車で	
その他意見	中央線のみでよい（役場まで）	

○自分たちにできること・利用促進について

た み ん が で き る こ と を も ら う た め に 自 分	なるべくバスを使うようにする	一人でもたくさんの人達に乗ってもらいたいのでバス利用します
		今、車で行っているがたまにはバスにのる
		少なくとも週1、2回は役場までの往復で乗ると思う
		駅まで役場まで
		雨降りには乗ります
		バスで花咲かす
	町外の人に使ってもらえるように	雨がふると乗りたい
		バスマップを駅に置く
		観光資源は多い
	事業者側だけ	↓
		トイレも少ない
		飲食店が少ない
	バス停わかりやすくしてほしい	
	電車とバスの時間を合せる	

■4班（午前の部）の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	4
1回の乗車時間が短い。	4
拠点に行けば、いろんな行先がある	3
コストを下げやすい	1
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	2

デメリット	
乗り換えがおっくう	
運賃を2回払わなければならない	4
目的地まで時間がかかる	
乗り換えがうまくいかない場合がある	4
初めての人にはわかりにくい	1

その他意見	
初めての人にはわかりにくい	情報は分かりやすくする
その他	乗換えがスムーズなのが前提

○商業施設へのアクセスについて

商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
	3	1
その他意見	商業施設の近くにバス停が欲しい	

聖和台の中には行ってほしい

○商業施設へのアクセスについて

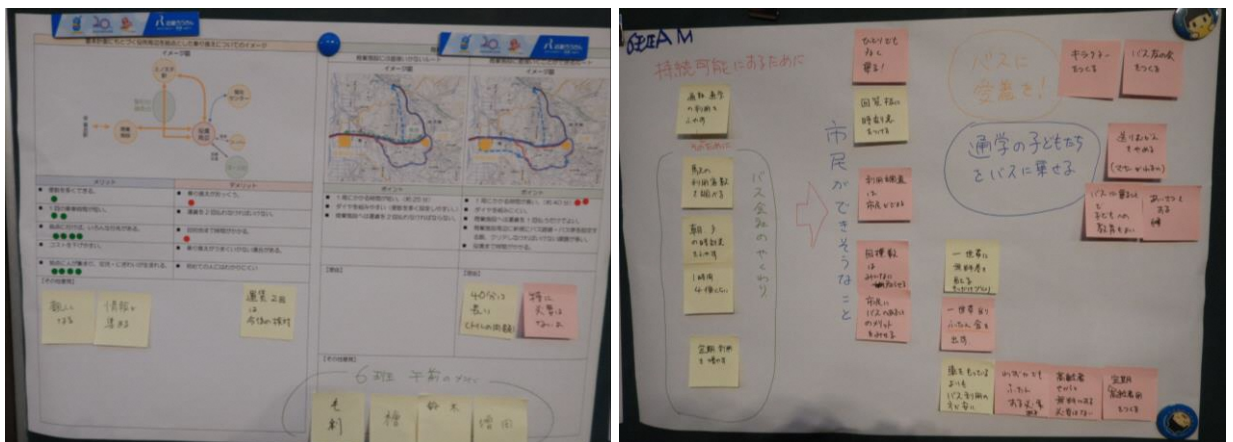
商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
	4	0
理由	時間がかかってしまう	

○自分たちにできること・利用促進について

回数券・定期	各世帯あたり月 2000 円回数券を買う 定期の発行
話し合いの場	中央線のバス停をどこらへんにするか？ バス停きめるときに金剛バスと話し合い
わかりやすいマップ	バス停のしるし（地図）
わかりやすい案内	料金表 時刻表の作成
情報発信	のぼり（啓発） 通勤客をさそう
バス停空間	椅子の作成 ベンチを作る 屋根を造る 花を植えて清けつにする
注意カンキ	路上駐車

■6 班（午前部）の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	1
1 回の乗車時間が短い。	2
拠点に行けば、いろんな行先がある	4
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	4

デメリット	
乗り換えがおっくう	1
運賃を 2 回払わなければいけない	
目的地まで時間がかかる	1
乗り換えがうまくいかない場合がある	
初めての人にはわかりにくい	

その他意見	
親しくなる	
情報が集まる	

運賃2回は今後の検討

○商業施設へのアクセスについて

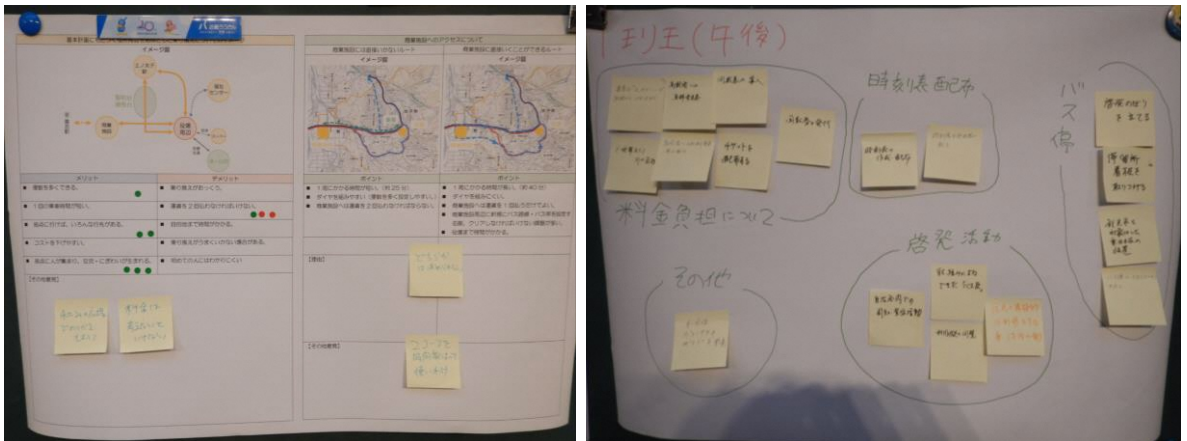
商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
		2
理由	こちらの方でよい	40分は長い(トイレの問題) 特に必要はないよ

○自分たちにできること・利用促進について

持続可能にするために	通勤・通学の利用をふやす ↓そのために
バス会社の役割	駅の利用客数を調べる
	朝、夕の時刻表をふやす
	1時間4便くらい
	定期利用を増やす
市民ができそうなこと	ひとりでも多く乗る!
	回覧板に時刻表をつける
	利用調査は市民がつける
	目標数はみんなに知らせる
バスに愛着を	市民にバスがあることのメリットをみせる
	キャラクターをつくる
通学の子どもたちをバスに乗せる	バス友の会をつくる
	送りむかえをやめる(マナーがわるい)
	バスに乗ることで子どもへの教育もよい
その他	あいさつをする
	一世帯に無料券を配る。きっかけづくり
	一世帯当たりふたん金を出す
	車をもっているよりもバス利用の方がやすい
	わずかでもふたんする必要がある
	高齢者やからと無料にする必要はない
	高齢者用定期をつくる

■1班(午後の部)の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	1
1回の乗車時間が短い。	
拠点に行けば、いろんな行先がある	2
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	3

デメリット	
乗り換えがおっくう	
運賃を2回払わなければいけない	3
目的地まで時間がかかる	
乗り換えがうまくいかない場合がある	
初めての人にはわかりにくい	

その他意見	
和みの広場でのりかえもよい	
料金は考えないといけない	

○商業施設へのアクセスについて

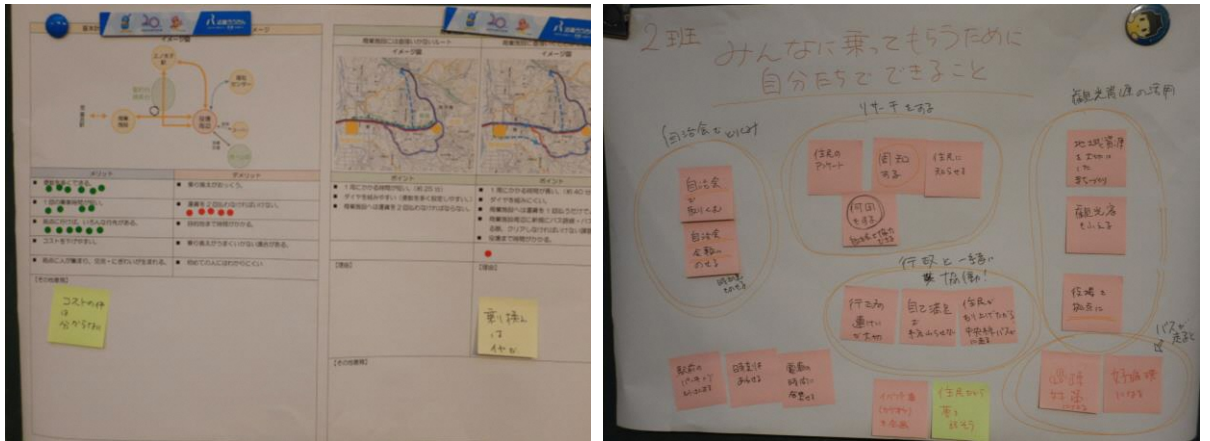
商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
	0	0
理由	どちらかは決められない	
その他意見	2コースを時間帯によって使い分け	

○自分たちにできること・利用促進について

料金負担について	運賃は「0」円がいいが、無理なら100円まで
	高齢者への無料乗車券
	回数券の導入
	1世帯あたり月の負担
	高齢者への無料乗車券を配る
	チケットを配布する
その他	回数券の発行
	月1回位ボランティアのガイドを募集
時刻表配布	時刻表の作成・配布
	時刻表を全世帯に配る
啓発活動	自治会内での周知・宣伝活動
	取組みによるできた「バス友」
	利用状況の図覧
バス停	住民の積極的な利用をすること（生活の一部）
	啓発のぼりを立てる
	停留所看板を取りつける
	観光客を対象にした案内板の設置
	バス停にイス（ベンチ）をおく

■2班（午後の部）の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	6
1回の乗車時間が短い。	4
拠点に行けば、いろんな行先がある	6
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	

デメリット	
乗り換えがおっくう	
運賃を2回払わなければいけない	5
目的地まで時間がかかる	
乗り換えがうまくいかない場合がある	
初めての人にはわかりにくい	

その他意見	
コストの件は分からない	

○商業施設へのアクセスについて

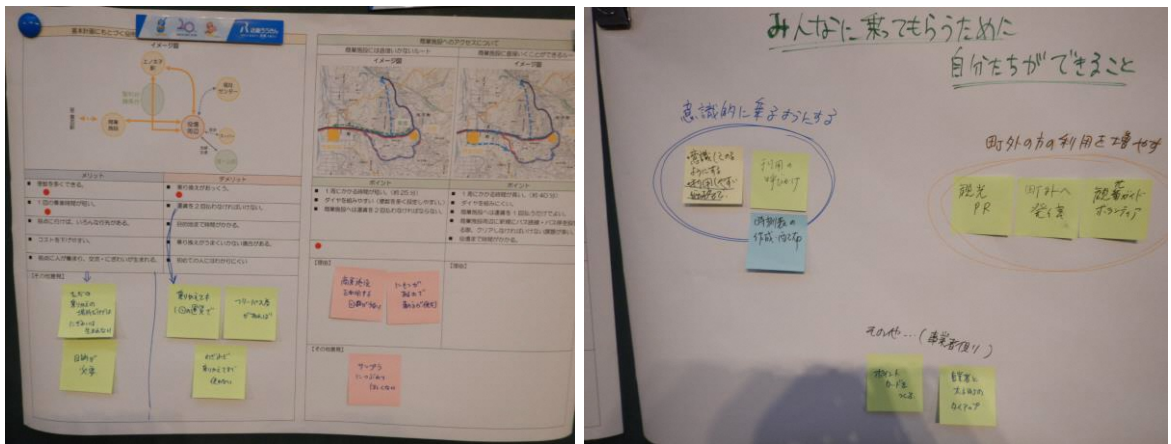
商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
	0	1
理由		乗り換えはイヤだ

○自分たちにできること・利用促進について

みんなに乗ってもらうために自分たちでできること	自治会でとりくみ	自治会で取りくむ 自治会会報にのせる（時刻表をのせる）	
	リサーチをする	住民のアンケート 周知する 住民に知らせる 何回もする（自治会で協力できる）	
		行政と一緒に協働	行政の連けいが大切 自己満足で終わらせない 住民が盛り上げたから中央線バスが走る
		観光資源の活用	地域資源を大切にしまちづくり 観光客もふえる 役場を拠点に
	バスが走ると	過疎対策になる 好循環になる	
	その他	駅前 <small>の</small> パーキングを小さくする 時刻をあわせる 電車の時間に合わせる イベント車（カラオケ）を企画	
		住民だから夢を話そう	

■3班（午後の部）の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	1
1回の乗車時間が短い。	1
拠点に行けば、いろんな行先がある	
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	

デメリット	
乗り換えがおっくう	1
運賃を2回払わなければいけない	
目的地まで時間がかかる	
乗り換えがうまくいかない場合がある	
初めての人にはわかりにくい	

その他意見		
メリット	拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	ただの乗り換えの場所だけではにぎわいは生まれない
	その他	目的が必要
デメリット	運賃を2回払わなければいけない	乗りかえても1回の運賃でフリーパス券があれば
	その他	わざわざ乗りかえてまで使わない

○商業施設へのアクセスについて

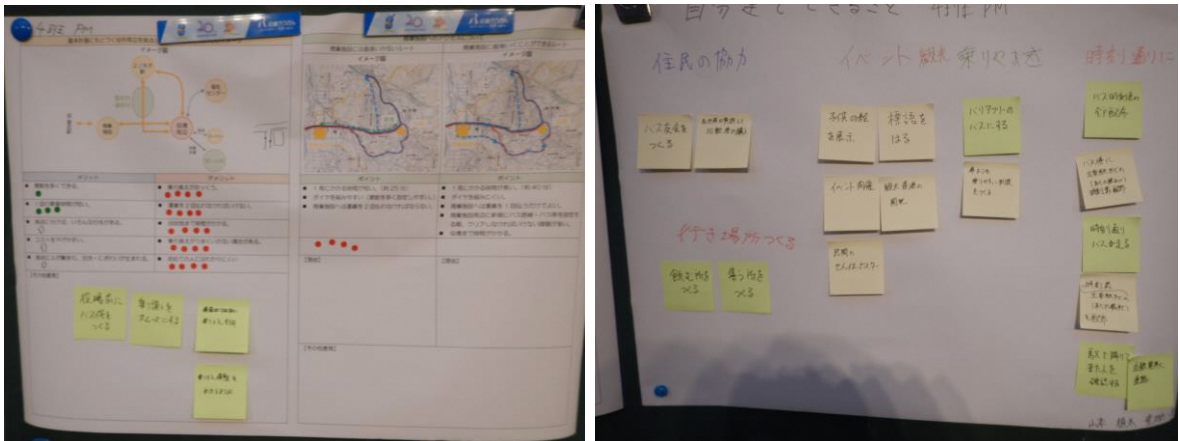
商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
	1	0
理由	商業施設を利用する回数が少ない にもつがあるので車の方が便利	
その他意見	サンプラにつぶれてほしくない	

○自分たちにできること・利用促進について

みんなに自分たちが 乗ってもらうための こと	意識的に乗るようにする	意識して乗るようにする。利用しやすい価格で
		利用の呼びかけ
		時刻表の作成・配布
	町外の人利用を増やす	観光PR
		町外へ発信
		観光ガイドボランティア
	その他 (事業者側)	ポイントカードをつくる
		事業者と太子町のタイアップ

■4班（午後の部）の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	1
1回の乗車時間が短い。	3
拠点に行けば、いろんな行先がある	
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	

デメリット	
乗り換えがおっくう	4
運賃を2回払わなければいけない	4
目的地まで時間がかかる	4
乗り換えがうまくいかない場合がある	4
初めての人にはわかりにくい	4

その他意見	
役場前にバス停をつくる	
乗り換えをスムーズにする	
乗りかえ割引	
乗りかえ情報をわかるように	

○商業施設へのアクセスについて

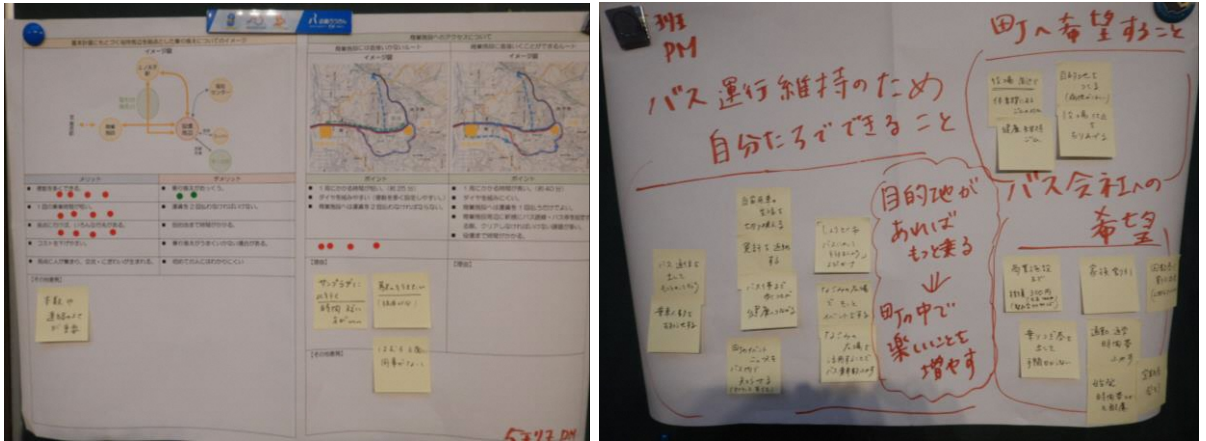
商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
	4	0
その他意見		

○自分たちにできること・利用促進について

自分達 で できる こと	住民の 協力	バス友会をつくる
		各世帯が負担して回数券の購入
	イベント・観光	子供の絵を展示
		標語をはる
		イベント開催
		観光資源の開発
		民間の宣伝ポスター
	乗りやすさ	バリアフリーのバスにする
		車よりも乗りやすい制度をつくる
	時刻通りに	バス時刻表の全戸配布
		バス停に主要駅までの（あべの橋など）時刻表配布
		時刻通りバスが走る
		主要駅までの時刻表（あべの橋まで）を配布
		駅で降りて来た人を確認する
行き場所 つくる	近鉄電車に連絡	
	飲むところをつくる	
		集う所をつくる

■5班（午後の部）の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	4
1回の乗車時間が短い。	4
拠点に行けば、いろんな行先がある	4
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	

デメリット	
乗り換えがおっくう	2
運賃を2回払わなければならない	
目的地まで時間がかかる	
乗り換えがうまくいかない場合がある	
初めての人にはわかりにくい	

その他意見	
本数や連絡のよさが重要	

○商業施設へのアクセスについて

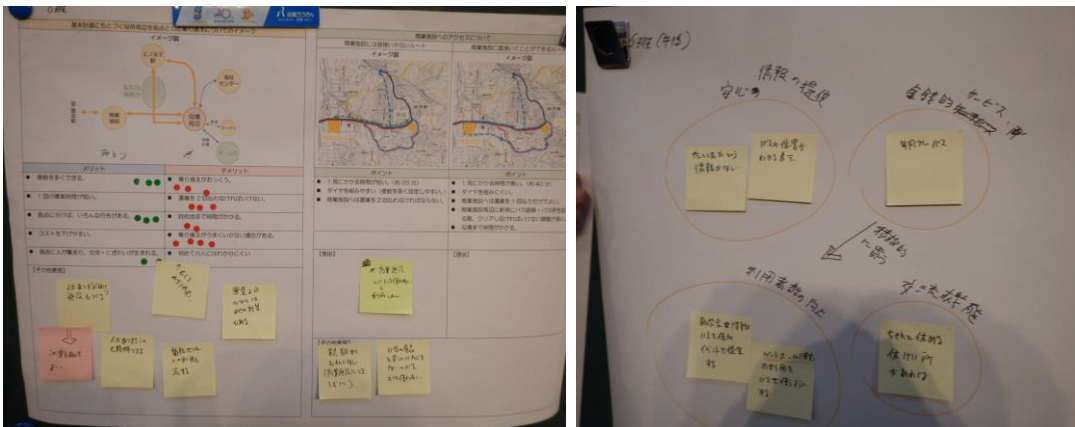
商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
	4	0
理由	サンプラザに行く（時間短い方がいい）	
	駅へ行きたい（徒歩25分）	
	はむろ方面に用事がない	

○自分たちにできること・利用促進について

自分たちにできること	バス通信をだしてもっと乗ってもらう	目的地があれば もっと乗る ↓ 町の中で楽しい ことを増やす
	乗車人数をお知らせする	
	自家用車の生活を切り換える	
	免許を返納する	
	バス停まで歩くことが健康へつながる	
	町のイベントニュースをバス内で知らせる（アナウンス等でも）	
	「しょうとく市バスにのって行きましょう」とよびかけ	
	なごみの広場でもっとイベントをする	
	なごみの広場を活用することでバス乗車数をふやす	
町へ希望	役場周辺で体育館にあるジムのような	
	健康維持、ジム	
	目的地をつくる（病院がほしい）	
	役場付近をもりあげる	
バス会社への希望	商業施設まで往復 300 円（片道 200 円）（聖和台⇄カインズ）	
	乗りつぎ券を出して手間かからない	
	家族割引	
	通勤、通学時間帯ふやす	
	始発時間帯とかも配慮	
	回数券で割引制度（2 回分オトクとか） 定期券発行	

■6 班（午後の部）の主な意見

○発表内容



○拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	3
1回の乗車時間が短い。	
拠点に行けば、いろんな行先がある	3
コストを下げやすい	
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	2

デメリット	
乗り換えがおっくう	3
運賃を2回払わなければいけない	3
目的地まで時間がかかる	2
乗り換えがうまくいかない場合がある	4
初めての人にはわかりにくい	

その他意見	
その他	人があつまる（休けい）施設もつくる
	↓
	この案もあってよい
	人があつまることも期待できる
	福祉センターへの利用も高まる
運賃2回については他の対策もある	
初めての人にはわかりにくい	むしろわかりやすい

○商業施設へのアクセスについて

商業施設へのアクセスについて		
	商業施設には直接いかないルート	商業施設に直接いくことができるルート
	0	0
理由	商業施設にバスは使わない→利用しない	
その他意見	喜志駅までむすんでほしい（商業施設にとまらずに）	
	日常の食品を買うにはなじまない→バスでは使わない	

○自分たちにできること・利用促進について

安心・情報の提供	バスが行ってしまったという情報が欲しい
	バスの位置がわかる表示
金銭的サービス	年間フリーパス
	↓積極的に買う
利用者数の向上	自治会活動などバスを使ったイベントを提案する
	ゲートボール（葉室）の利用をバスで使うようにする
交流機能	ちゃんと休める休けい所があれば

④ワークショップの結果まとめ

■拠点での乗り換えについて

メリット	
便数を多くできる	33
1回の乗車時間が短い。	27
拠点に行けば、いろんな行先がある	33
コストを下げやすい	7
拠点に人が集まり、交流・にぎわいが生まれる	23

デメリット	
乗り換えがおっくう	19
運賃を2回払わなければならない	28
目的地まで時間がかかる	12
乗り換えがうまくいかない場合がある	20
初めての人にはわかりにくい	6

カテゴリー	意見
料金について	フリーパス券があれば
	乗りかえ割引
	運賃2回については他の対策もある
	2回運賃は対策が必要である
	往復券もある
	乗換券を使って1回分でいけるように 運賃2回でも安ければいい
役場拠点について	人があつまることも期待できる
	人があつまる(休けい)施設もつくる
	役場前にバス停をつくる
	役場までのバスが増便になれば利用者はふえる
	役場中心は賛成
	ただの乗り換えの場所だけではにぎわいは生まれない 行き先が少ない、そんなに必要ない
乗換箇所について	和みの広場でのりかえもよい しなが小学校前を拠点にできないか?
乗り換えについて	乗り換えをスムーズにする 乗りかえ情報をわかるように
福祉センターについて	福祉センターへの利用も高まる 福祉バスとその今後の心配 福祉バスとの共存はしやすくなる
他地域について	畑地区の人は不便なのは
ピストン	ピストンにすればニーズが明確化する ちょこちょこしたピストンのかえって効率が悪い まだ具体的な問題がわかりにくい
その他	やってみないとわからないがこの案も可能性はある
	両方あってもよい?
	聖和台の中にはいってほしい
	親しくなる
	情報が集まる
	わざわざ乗りかえてまで使わない 利用者の時間別利用あるからベストのダイヤが組める

■ 商業施設へのアクセスについて

アクセスについて	
商業施設には直接いかないルート	20
商業施設に直接いくことができるルート	4

カテゴリー	意見
商業施設には直接いかないルート	商業施設はルートあまり必要性はない
	商業施設に行く用事がない
	短い時間で動ける方がいい
	大きな荷物もって乗換は大変
	サンプラザに行く（時間短い方がいい）
	商業施設の近くにバス停が欲しい
	時間がかかってしまう
商業施設を利用する回数が少ない	
商業施設に直接いくことができるルート	乗り換えはイヤだ
その他の意見	時間帯次第
	役場とカインズの送迎車
	機会ができるしにぎわう→商業施設がくる？
	中央線のみでよい（役場まで）
	どちらかは決められない
	2コースを時間帯によって使い分け
	サンプラにつぶれてほしくない
	喜志駅までむすんでほしい（商業施設にとまらずに）
日常の食品を買うにはなじまない→バスでは使わない	

■ 自分たちにできること・利用促進について

カテゴリー	意見
料金	送迎バスは有料に
	定期の発行
	乗車ポイントカードの利用
	高齢者用定期をつくる
	高齢者にチケット配布
	高齢者は無料にする
	高齢者やからと無料にする必要はない
	回数券発行、有効期限がある。
負担	運賃は「0」円がいいが、無理なら100円まで
	住民が寄付
	各世帯あたり月2000円回数券を買う
時刻表	1世帯当り負担金を出す
	バスマップを駅に置く
	バス時刻表の全戸配布
啓発活動	バス停に主要駅までの（あべの橋など）時刻表配布
	啓発のぼりを立てる
	目標数はみんなに知らせる
個人でできること	一世帯に無料券を配る。きっかけづくり
	所持するバイクを廃止する
	（重要）個人がいかん利用するかを考えること
	今、車で行っているがたまにはバスにのる
	雨がふると乗りたい
	友だちと話し合っ一緒に行く
	ひとりでも多く乗る！
	送りむかえをやめる（マナーがわるい）
自家用車の生活を切り換える	
	免許を返納する
	バス停まで歩くことが健康へつながる

カテゴリー	意見
観光	えい福寺（遠方からお墓参り）とコラボレーション
	寺にもメリットができるような仕組みを考える
	他県から来る人によく解るように駅に大きなバス地図を置く
	太子町観光地めぐりの日でもつくって、その日はバスガイドをつける（イベント）
バス停	月1回位ボランティアのガイドを募集
	住民でバス停を決める
	バス停きめるときに金剛バスと話し合い
	地域でバス停の美化につとめる（そうじ、花をかざる）
	ベンチを作る
自治会	屋根を造る
	自治会を利用して呼びかける（乗った人数とか）
	回覧板に時刻表をつける
	自治会会報にのせる（時刻表をのせる）
団体・会	自治会内での周知・宣伝活動
	利用状況の回覧
情報発信	バス友の会をつくる
	公民館、図書館で利用したくなるような宣伝
	羽曳野（飛鳥）の人も太子町へ
	周辺市町村へのピーアール
	楽しいチラシを作り配布する
	通学の学生に宣伝する
	通勤客をささう
	市民にバスがあることのメリットをみせる
	車をもっているよりもバス利用の方がやすい
	バスが行ってしまったという情報が欲しい
	バスの位置がわかる表示
	バス通信をだしてもっと乗ってもらう
	乗車人数をお知らせする
	観光PR
町外へ発信	
仕組みづくり	観光ガイドボランティア
	健康マイレージのポイントを（自治会、個人）回数券に交換できる
	バスにのったら、ぶどう、みかんなど直売所の地場産品の値引き券とか
	女性 DAY とか子どもの日とか無料の日をつくる
	テーマソングを募集する
	スタンプラリーをつくる（サンブラザ、他のスーパー、ラムー、カインズ連携）
バス	上ノ宮太子とコラボ（今、上ノ太子からスクールバス）
	バスの中をギャラリーに（太子町自慢）
イベント	子どもの絵の展示
	標語をはる
	バス待ち時間を有意義にすごせるよう万葉ホールでイベント（音楽とか）
	聖徳市でイベントをする
	出たくなる（バスに乗る）ようなイベントの企画。たとえば古墳めぐりなど
	若者が利用したくなるイベントや施設の企画
	ワイン祭りの開催
	自治会活動などバスを使ったイベントを提案する
	ゲートボール（葉室）の利用をバスで使うようにする
「しょうとく市バスにのって行きましょう」とよびかけ	
安全安心	なごみの広場を活用することでバス乗車数をふやす
	イベント車（カラオケ）を企画
バスに愛着	路上駐車注意喚起
教育	キャラクターをつくる
	バスに乗ることで子どもへの教育もよい
目的地	あいさつをする
	目的地があればもっと乗る→町の中で楽しいことを増やす
	目的地をつくる（病院がほしい）
	飲むところをつくる

カテゴリー	意見
その他	中央線 40km 制限の見直し
	利用調査は市民がつける
	役場付近をもちあげる
	車よりも乗りやすい制度をつくる
	事業者と太子町のタイアップ
	住民のアンケート
	駅前パーキングを小さくする
金剛バスへの要望	バス停わかりやすくしてほしい
	電車とバスの時間を合わせる
	商業施設まで往復 300 円（片道 200 円）（聖和台⇄カインズ）
	乗りつぎ券を出して手間かからない
	家族割引
	通勤、通学時間帯ふやす
	始発時間帯とかも配慮
	回数券で割引制度（2 回分オトクとか）
	定期券発行
	バリアフリーのバスにする
	時刻通りバスが走る

⑤実施風景

